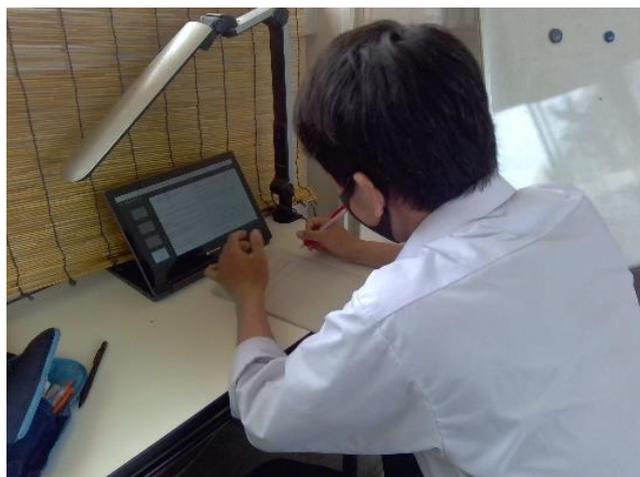




国の「GIGAスクール構想」により、1人1台端末が導入されます。GIGAスクール構想とは『1人1台端末を導入し、高速大容量の通信ネットワークを一体化することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。さらに、これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す。』と定義されています。この実現に向け、姫路市でも令和4年度入学生から、BYADが導入となります。



(廊下の自習スペースにて学習している風景)



(電子黒板を用いた物理の授業)

BYAD事業に先駆け、令和4年1月から75期、76期生(現3年、2年生)がChromebookを1人1台活用しています。授業やホームルーム活動、探究活動などでタブレット端末の使用が必須になっており、今や学校生活の一部となりつつあります。変化しうる社会に追いつき追いつき越せ、と「師弟一體」の精神で、教師と生徒が一つになって新しい学校の形を作り上げていきたいです。



※ フォームを用いた授業風景 … 即座に集計もグラフ化され、考えを共有できている